



生物多様性の保全に関する愛媛県の取組

- ・平成 8年 愛媛県環境基本条例施行
- ・平成15年 愛媛県レッドデータブック策定
- ・平成17年 愛媛県野生動植物の保護に関する基本指針策定
- ・平成20年 愛媛県野生動植物の多様性の保全に関する条例制定
- ・平成21年 特定希少野生動植物13種、保護区6区指定 侵略的外来生物(88種)の公表
- ・平成22年 愛媛県外来生物対策マニュアルの作成
- ・平成23年 特定希少野生動植物保護管理事業計画の策定(4種)
生物多様性えひめ戦略の策定(予定)

生物多様性えひめ戦略の必要性

- 耕作放棄地の増加や外来生物、温暖化などによって豊かな愛媛の自然環境が損なわれている
- 愛媛県の特性を踏まえた生物多様性保全のため、総合的・横断的対策が必要
- 「生物多様性基本法」の制定(H20.6施行)、「生物多様性国家戦略2010」の策定(H22.3)、COP10の開催(H22.10)など国内外の動向

生物多様性えひめ戦略の策定方法

- えひめの生物多様性保全推進委員会
平成22年度から大学、農業団体、企業等多岐に渡る学識経験者等11名により、新たに委員会を設置し計5回の検討を実施。
加えて、下部組織として各分類群の専門家10名による専門部会を設置し、検討を実施。
- 生物多様性保全推進庁内ワーキンググループ
県庁内の関係各課(環境、保健、経済、農林水産、土木、教育等)で構成し、検討を実施。

県民の参画

平成22年度

- 生物多様性セミナー
(企業・農業者・一般計3回)
- NPO等に対するアンケート

平成23年度

- 生物多様性えひめ生き物ミーティング【ワークショップ】(市町・高校・NPO計5回)
- パブリックコメント







生物多様性えひめ戦略の特徴

愛媛県は、まだまだ身近に豊かな自然に触れ合うことができる環境があるが、生物の多様性は急速に失われつつある。

↓
生物多様性の恩恵を享受しながら暮らしていることに多くの県民が気づいていないという実態

↓
希少な動植物の保護のみを中心とするのではなく、**人々の日々の暮らしに内包された多様な生きものとのつながり(戦略の中では『内なる生物多様性』)の保全に焦点を当てることにより県民総ぐるみで生物多様性の保全に取り組む!**

【参考】内なる生物多様性とは

人の暮らしの中には、多様な生物と結びつく知恵や技能が内包されています。例えば、里山に暮らす婦人が五感を活用し600種にも及ぶ植物を分類し、それを食物や薬として生活に利用するとともに、その手法を後世に伝承するなど生物と暮らしを結ぶ知恵。このような、ありふれた暮らしの中に生物多様性の構造や機能が潜んでいることがあります。それらを総称し「内なる生物多様性」と呼ぶこととします。

出典
日経一社 2010年4月 地球のこども環境教育フォーラム
日経一社 2011年4月 農林水産業を支える生物多様性の評価と課題

本戦略においても、人々の暮らしに内包されている多様な生きものとのつながりを「内なる生物多様性」と称す。

愛媛県の生物多様性の現状と課題

愛媛県の現状

地勢・気候

・瀬戸内海、宇和島に面し大小200余りの島
・西日本最高峰の石鎚山や雄大な四国カルスト等の山岳、河川、ため池など変化に富んだ地形
・温暖な瀬戸内式気候

野生動植物

・地形的にも多様であることから、様々な動植物が生息・生育

生態系

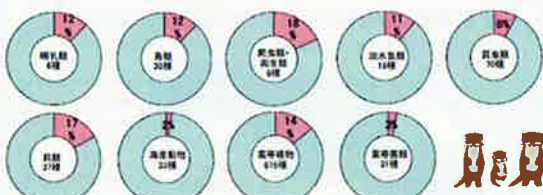
① 原生的地域
② 森林
③ 里地・里山
④ 河川・水辺
⑤ 農地・沿岸
⑥ 都市

- ① 野生動植物の生息・生育環境の悪化
- ② 人の関わりや営みの減少
里地・里山地域での耕作放棄地や放牧林の増加、野生鳥獣被害の増加
- ③ 希少種の絶滅のおそれと外来生物の分布拡大
- ④ 地球温暖化による影響
- ⑤ 県民生活や社会経済活動における生物多様性の認識・配慮不足

愛媛県レッドデータブックからみた愛媛の生物多様性の現状

人間活動による開発や過剰な利用、生息地の減少、耕作放棄地の増加、外来生物による生態系のかく乱などにより、野生生物の絶滅の恐れが懸念されています。

県内の絶滅のおそれのある野生動物の割合 (絶滅・絶滅危惧)

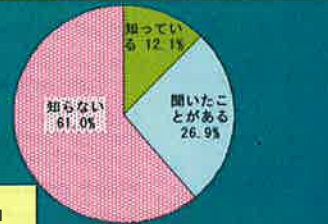


・比率は、愛媛県野生動物種別保護計画に対する県民DBの絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧(CR+EN)(VU)の種数の比率
・割合は、県民DBの絶滅とEX、野生絶滅とEW、絶滅危惧とCR+EN(VU)の種の合計数
・調査対象は400種以内であり、調査対象外のツツドリ、ダイオウ、トンボ等については、調査対象外であるが調査対象外で調査対象外と見做す

生物多様性に対する愛媛県民の認識度 (平成21年度 県民世論調査)

cf. 環境問題に関する世論調査 (内閣府):平成21年6月

「言葉の意味を知っている」12.8%
「言葉は聞いたことがある」23.6%
「聞いたこともない」61.5%



○調査地域 愛媛県内
○調査対象 20歳以上の男女
○調査時期 平成21年10月6日～20日
○総人数 2,090人
○回収率 71.3%

生物多様性えひめ戦略の目指すべき将来像と目標

目指すべき将来像
「100年先も生きものみんなやさしい愛媛」
 将来にわたって生物多様性の恵みを受継ぎ、人と自然が共生し、豊かな自然と文化が守り継がれる100年先も生きものみんなが、やさしい愛媛(えがお)でいられる社会の実現を目指す！

社会経済的な仕組みを取り入れた生物多様性の恵みの持続可能な利用を目指す。

多様な人々の連携・協働

多様な生きものを守り、多様な生きものから得られる恵みを生かすことにより、人と自然が共生し、豊かな自然と文化が守り継がれる100年先も生きものみんなが、やさしい愛媛(えがお)でいられる社会の実現を目指す！

多様な人々の連携・協働

多様な生きものを守り、多様な生きものから得られる恵みを生かすことにより、人と自然が共生し、豊かな自然と文化が守り継がれる100年先も生きものみんなが、やさしい愛媛(えがお)でいられる社会の実現を目指す！

生物多様性の恵みの持続可能な利用

生物多様性の保護と管理

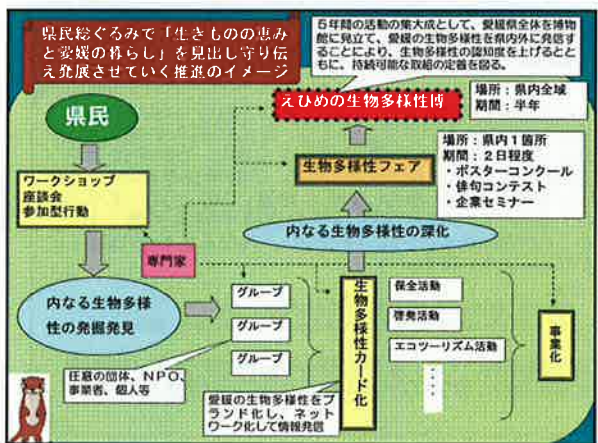
中期的な具体的施策の推進テーマ
『伝えていこう！生きものの恵みと愛媛の暮らし』
 県民総ぐるみで「生きものの恵みと愛媛の暮らし(内なる生物多様性)」を見出し守り伝え発展させていく

行動計画 (中期的に取り組む具体的施策)

1 生物多様性の保全と管理 <ol style="list-style-type: none"> ① 優れた自然環境の保全・再生 ② 希少野生動植物等の保護、生息・生育地の保全と管理 ③ 開発行為等における影響評価 ④ 野生鳥獣の適正管理 ⑤ 里地、里山、里海の保全・再生と多面的機能の発揮 ⑥ 外来生物対策の推進 ⑦ 低炭素社会、循環型社会の形成に向けた取組の推進 ⑧ 内なる生物多様性の発掘と利活用の推進 	2 生物多様性の恵みの持続可能な利用 <ol style="list-style-type: none"> ① 生物多様性保全をより重視した農林水産業の推進 ② 事業活動における生物多様性保全への配慮 ③ 県民生活における生物多様性保全の推進
	3 多様な人々の連携・協働 <ol style="list-style-type: none"> ① 県民総ぐるみで「内なる生物多様性」を見出し守り伝える意識の高揚 ② 推進のための基盤づくり

今後5年間の具体的施策

- ① えひめの生物多様性パワーアッププロジェクト
 - 愛媛県レッドデータブックの改訂(モニタリング調査)
 - 特定希少野生動植物の保護管理
 - 開発行為に関する生物多様性配慮指針の作成
 - 生態系ネットワークモデルエリアの設置
 - 多様な人々の連携による里地・里山・里海の再生
- ② えひめの生物多様性認識度3割アッププロジェクト
 - 内なる生物多様性の発掘(生物多様性カード化)
 - 普及啓発の推進(研修会等の開催)
 - ライフスタイルの転換(ライフスタイルに関する配慮指針の作成等)
 - 協働・連携、ネットワーク化
 - ・えひめの生物多様性保全推進協議会(仮称)
 - ・えひめの生物多様性博の開催



【参考】 南予・旅コレカード

草木染/柿渋染体験

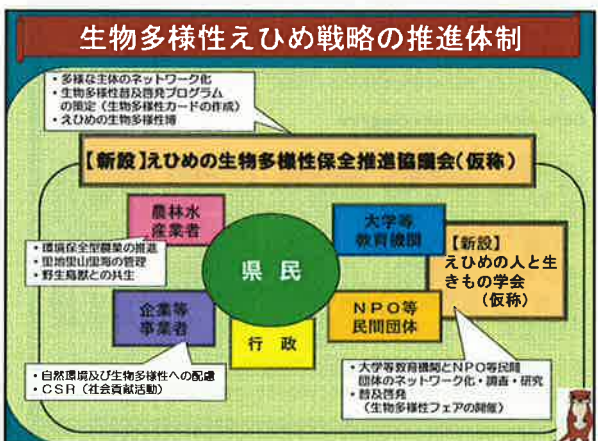
主催 内子町商工会女性部 工房夢ふうせん

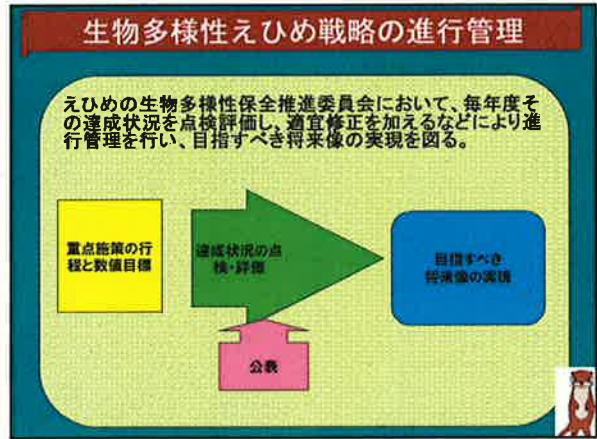
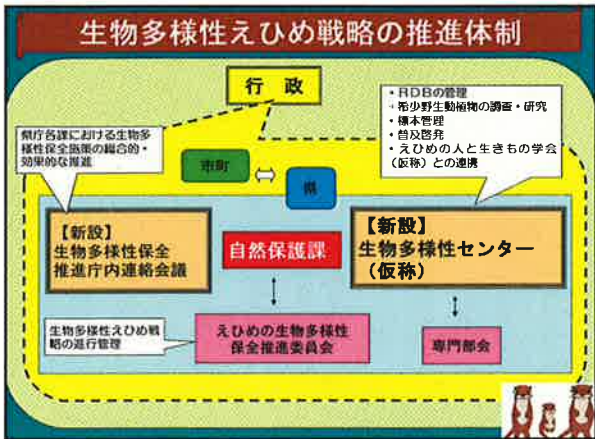
料金 草木染め(約5時間)1人 3,000円
 柿渋染め(約6時間)1人 3,000円

実施日時 随時
 ※草木染め/柿渋染め各体験ごとに3名以上の申込みで実施します。

実施場所 内子町小田(寺井美容室横)

葉や皮も食べるだけではつまりません。それぞれが隠し持っている、素敵な色彩を体験してみませんか？葉っぱや木の皮、木の皮や草の根から想像を越えた奥深い色が現れる瞬間は言葉にできない美しさです！皆さんも、自然の中に隠された色彩と一緒に発見してみましよう。





- ### 今年度の戦略関係のスケジュール
- **戦略冊子の作成・配布**
普及啓発のため戦略の冊子(ワークショップに参加した高校生から募集した図案を表紙とする)とパンフレットを作成・配布
 - **生物多様性普及推進フォーラムの開催**
H24年3月に戦略の周知と県民をはじめ農林水産業者、企業、NPO、教育機関、行政がそれぞれの役割を認識し、連携しながら生物多様性の保全と持続可能な利用を総合的に推進するための機運を醸成するためにフォーラムを開催
 - **戦略に即したH24年度予算案の作成及び組織改正**

- ### 最後に
- 地域の生物多様性の保全・再生**
↓(地域の特色ある文化は生物多様性の上に成り立っている)
 - 地域の特色ある文化の保全・再生**
↓(特色のある文化を持つ地域は魅力があり住民が誇りを持つ)
 - 地域の活性化・再生!**
- 地域の生物多様性を保全し、人も含めた地域の生きものみんながやさしい愛顔に!!**
-